

平成28年度「自動車部品出荷動向調査票」の記入要領

平成29年7月

本調査は、貴社の平成28年度（平成28年4月～平成29年3月までの1年間を基本としますが、貴社の年度期間が異なる場合〔例えば、平成28年1月～平成28年12月までの1年間等〕はその期間で結構です）の自動車部品の国内出荷動向に関する調査です。

本調査の回答は、集計結果のみを公表し、各社個々のデータは『秘』といたします。なお、ご報告頂いた自動車部品出荷額は、業界動向を正確に把握すること、並びに貴社の部品工業会会費を算出する基礎データとなりますので、正確にご記入ください。

調査票に記入頂く「部品名」は、昨年度の回答内容に関わらず、貴社の最新のカatalog等をご確認の上、「最新の自動車部品の生産・販売品目」の28年度出荷額について、全てご回答をお願いいたします。例えば、自動車分野において事業再編や新事業等による製品の出荷額もご記入ください。

1. 会社概況について

会社名及び平成28年度末（平成29年3月末現在）の資本金、正規従業員数（会社全体*単独の人数です）をご記入ください。

2. 自動車部品の国内出荷額の状況について

- ① 貴社が自社で国内生産し外部へ（自動車メーカー〔四輪・二輪〕、部品メーカー、一般市場など）へ出荷している自動車部品について、その出荷額をご記入ください。
- ② 自動車部品出荷額は、出荷額は百万円単位として、別紙分類表をベースに、最新の生産品目を調査票の分類に準じて記入してください。新規事業等により現在の分類表では、該当する部品分類がない場合はその他（190～890）でお願いします。また、今後、分類の見直しの検討を行なう際の参考とさせていただきますので、お問合せさせて頂く場合もあります。よろしく願いいたします。
- ③ 自動車部品の出荷額の記入要領は次のとおりです。
 - ・自動車部品出荷額は、出荷先によって区分してください。例えば、国内の自動車メーカーに「組付用」として出荷した部品の出荷額は、その部品が自動車メーカー経由で海外の現地工場の組付用として輸出された場合でも、部品出荷額は「メーカー向」「組付用」「国内」欄に記入してください。
 - ・貴社から直接海外の自動車メーカー（日系の現地生産会社を含む）へ「組付用」として出荷した部品の出荷額は、「メーカー向」「組付用」「海外」欄に記入してください。
 - ・「部品メーカー向」の「海外」は日本国内から海外の部品メーカー（日系の現地部品メーカーを含む）へ出荷している部品の出荷額を記入してください。
 - ・「海外」欄は自社及び自社系列販売会社（商社を含む）で直接輸出した製品の出荷額を記入してください。なお、「国内」と「海外」の区別が出来ない時は、推定案分し記入してください。
- ④ 納入先の自動車メーカー欄への記入は、国内自動車メーカーについては、貴社が直接納入している場合にのみ該当する国内自動車メーカー名に○印をお付けください。例えば、親会社経由で納入している場合には該当しませんので、ご注意ください。
また、海外自動車メーカーについては、海外の現地子会社から納入している場合も含めて該当する海外自動車メーカー名に○印をお付けください。
- ⑤ 調査票が2枚以上になる場合は、コピーをしてご記入ください。
部工会ホームページ(<http://www.japia.or.jp/>)からもExcel版の調査票をダウンロードできます。（掲載までに数日かかる場合がございます。）

3. 回答期日について

E-mail・FAX・郵送のいずれかの方法にて、**7月31日（月）まで**にご回答願います。

4. 回答先及び問い合わせ先について

一般社団法人 日本自動車部品工業会 業務部（内田、尾関）あて

〒108-0074 東京都港区高輪1-16-15

TEL：03-3445-4214

FAX：03-3447-5372

E-mail：（内田）uchida@japia.or.jp

（尾関）ozeki@japia.or.jp

以上